

◆理事長挨拶	1
◆法人の沿革	2
◆学校法人東海学園 機構図	2
◆役員数、理事・監事名	2
◆事業の概要	3
◆財務の概況	3
資金収支計算書	3
消費収支計算書	4
「消費収支計算書」による、主な部門別財務比率と課題	5
貸借対照表	6
財産目録・監査報告書	7
学生生徒・教職員の状況	7
◆東海教育理念・三綱領について	8

東海学園学報

Bulletin of Tokai Gakuen

NO. 8

理事長挨拶



理事長
水谷 幸正

みなさまご機嫌いかがでございますか。良・不良を織りまぜての日暮しが、わたくしたち凡人の生きざまであります。雨の日もあれば晴れの日もある、風の日もあれば風の日もある、というのが日常であります。

それにしても、今年の気候は格別に異常だったと言えます。6月に入ってから青空の晴天が多く、いわゆる空梅雨ではないかとさえ思っておりましたが、例年どおり田植えのあとに青い稲葉がすくすくと育ちました。しかし中越沖地震などの災害はもちろんのこと、台風、豪雨による大災害が今年は格別に多かったのではないのでしょうか。被害地の皆様の苦しみや悲しみがどれほど大きかったかと、支援を含めて心からお見舞申しあげております。

とくに、7月に入ってから夏日にも閉口しました。「暑さ寒さも彼岸まで」と言われておりますが、京都の秋の彼岸は30度を超す夏日でした。地球温暖化を現実に体験したのであります。朝夕、ようやく秋風らしきものを感じ、安らぎを少し感じているところです。要は人生万般、雨天、曇天、好天などさまざまな展開がありますが、わが東海学園は「法然上人の心を心とする学園である」ということを心柱にして120年余りの諸々の天候を受けながら歴史を刻んできている、ということでもあります。

夏日の最中にこの稿を執筆しているために、いささか無駄なことを書いて申し訳ありません。夏休み中、何回か車道の東海中高を訪れ、元気一杯のスポーツ活動をしている生徒たちを目前に、あれこれ感じるがありました。たとえば、スポーツをしたくても、体の障害などのために、その思いが叶わない若者たちはどうしているだろうか、青年のエネルギー発散方法はいろいろある。読書、黙想とてもエネルギーがいるだろう。目さきの進学受験に執られずに、青春をさまざまに謳歌してほしい。ただし、自己中心で他人に迷惑をかけてはいけない。他人への思いやりを豊かに、共に助け合って生きぬく社会的訓練をしてほしい…等々。

さて、縁あって、この1月に「東海学園理事長」の要職に就任しましたが、まだ9ヶ月足らずです。でも少しずつ東海学園の風土に慣れてきました。諸先輩によって築きあげられてきた伝統あるわが学園を進展させるためには、まずは、理事会と教職員との真摯な協働が必須であります。言うまでもなく学生、生徒のための学園です。教育、研究は教職員、ビジョン豊かな経営の責任者が理事会であることを自覚して、保護者や同窓の方々など、関係各位のご意見を承りながら努力してゆく所在です。

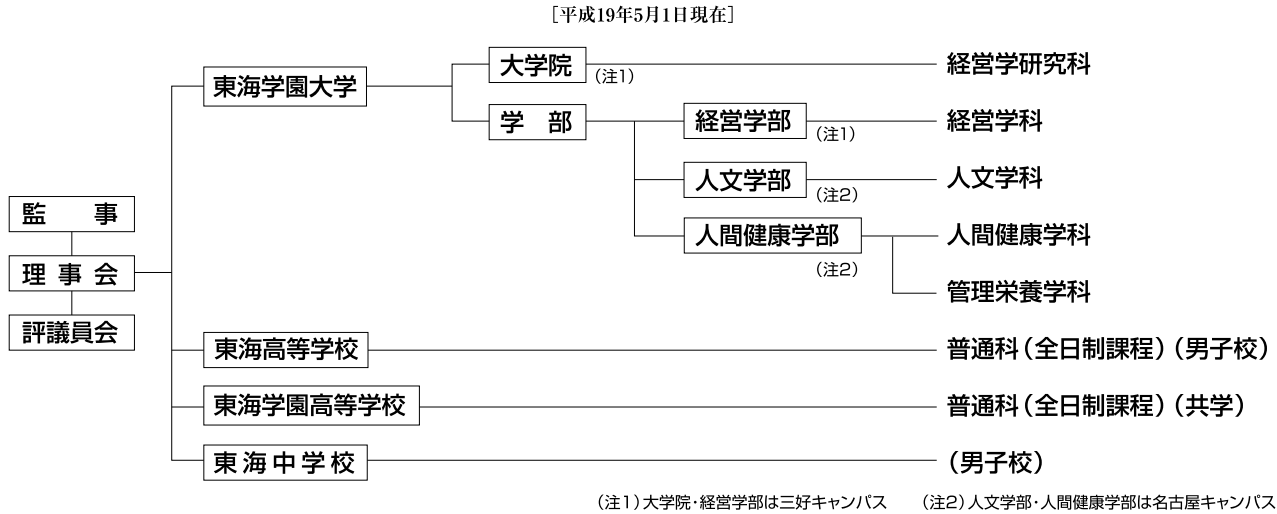
なお、私ごとを一言。小生の先祖代々は津島、父は旧制東海中学の卒業生です。また堀田岳成元理事長（現在、岡崎大樹寺貫主）の手足となって、東海学園大学設立に関与しました。「縁は…、味なもの」です。

まさしく粗辞になりましたが皆さまがたのご援助を重ねてお願いいたしまして学園発展のために微力を傾けたいと思います。

法人の沿革

明治 21.11	浄土宗愛知支校設立許可、設立者 浄土宗管長 日野靈瑞	平成 3. 4	東海学園女子短期大学 家政学科を生活学科と名称変更
明治 42. 9	東海中学校開設許可、設立者 浄土宗管長 山下現有	平成 3. 4	東海学園女子短期大学 臨時定員 英文学科300人、国文学科220人に増員
昭和 6.12	財団法人 東海中学校組織認可		
昭和 22. 4	新制 東海中学校設置許可、開学	平成 4. 4	東海学園女子短期大学 臨時定員 生活学科360人に増員
昭和 23. 3	東海高等学校設置認可	平成 6.12	東海学園大学設置認可
昭和 23. 4	東海高等学校開学	平成 7. 4	東海学園大学経営学部経営学科開学 経営学部・経営学科定員200人
昭和 23. 4	財団法人東海学園と改称	平成 7. 4	東海学園女子短期大学 定員変更 生活学科270人、英文学科80人、国文学科100人
昭和 26. 3	学校法人東海学園に組織変更認可	平成 12. 4	東海学園女子短期大学 英文学科、国文学科募集停止
昭和 37. 2	東海第二高等学校設置認可	平成 12. 4	東海学園大学 定員変更 経営学部経営学科230人
昭和 37. 4	東海第二高等学校開学	平成 12. 4	東海女子高等学校を東海学園高等學校に名称変更及び共学化
昭和 37. 6	東海第二高等学校を東海女子高等学校と改称	平成 12. 4	東海学園大学大学院経営学研究科開学 定員20人
昭和 39. 1	東海学園女子短期大学設置認可	平成 12. 4	東海学園大学人文学部人文学科新設 定員250人
昭和 39. 4	東海学園女子短期大学開学 家政科定員50人、英語科定員50人	平成 13. 4	東海学園女子短期大学を東海学園大学短期大学部に校名変更並びに生活学科を生活環境学科と名称変更
昭和 40. 4	東海学園女子短期大学 定員変更 家政科定員90人、英語科定員60人	平成 13.10	東海学園大学短期大学部 英文学科、国文学科廃止認可
昭和 43. 4	東海学園女子短期大学 国文科新設定員50人、定員変更家政科150人、英語科100人	平成 16. 4	東海学園大学短期大学部 生活環境学科募集停止
昭和 46. 4	東海学園女子短期大学 学科名変更 国文学科、家政学科、英文学科	平成 16. 4	東海学園大学人間健康学部新設 人間健康学科定員190人、管理栄養学科定員80人
昭和 50. 4	東海学園女子短期大学 定員変更 家政学科250人、英文学科150人、国文学科100人	平成 17.12	東海学園大学短期大学部廃止認可
昭和 59. 4	東海学園女子短期大学 定員変更 英文学科200人	平成 18. 4	東海学園大学 定員変更 人間健康学部人間健康学科250人
昭和 60. 4	東海学園女子短期大学 定員変更 国文学科150人		
昭和 61. 4	東海学園女子短期大学 定員変更 家政学科300人		

学校法人東海学園 機構図



役員数、理事・監事名

[平成19年7月1日現在]

役員の概要等

	理事	評議員	監事
定数	12~14	29	2
現員	14	29	2
常勤	9	12	0
非常勤	5	17	2

常・非常勤	理事・監事の別	氏名
非常勤	理事長	水谷 幸正
常勤	理事	村瀬 忠雄
常勤	理事	伊藤公治郎
常勤	理事	星野 清明
常勤	理事	林 道隆
常勤	理事	土屋 純一
常勤	理事	田中 祥雄
常勤	理事	魚住 哲彦

常・非常勤	理事・監事の別	氏名
非常勤	理事	林 碩三
非常勤	理事	蟹江 嘉信
非常勤	理事	青木 信樹
非常勤	理事	宮崎 雅史
常勤	理事	山崎 広明
常勤	理事	鈴木 正博
非常勤	監事	飯田 英明
非常勤	監事	深谷 孝玄

平成18年度の事業の概要

■東海学園大学

◎三好キャンパス

・第2グラウンド整備

より機能的な教育体制の確立及びスポーツ教育の充実の為、整備を実施した。

総事業費 227,850千円



・4号館建築

講義室並びにスポーツ施設を充実させる為、室内プール・トレーニング室の機能を併せもつ校舎建築を実施した。

総事業費 1,660,000千円



■東海高等学校・中学校

・車道Ⅱ期工事

筒井校地総合整備事業として、体育館・弓道場・プール・校舎・グラント整備等の整備計画を3年度に渡って行っている。その計画の2年目に当たる18年度は校舎の整備を実施した。

総事業費

2,705,000千円

18年度事業費

1,116,490千円



■東海学園高等学校

・耐震補強工事

生徒並びに教職員の安全確保及び教育環境の充実のため、学園高校校舎4号館の整備を実施した。

総事業費 236,250千円

財務の概況

— 平成18年度決算 —

平成18年度決算は、監査法人および監事の監査を受けた上で、5月に開催された学校法人東海学園理事会・評議員会において承認されました。

本学園の会計は、監査法人による監査・指導を定期的に受けて処理されています。また法人の監事による指導も適宜受けています。これらの計算書類は、「学校法人会計基準」によって、「資金収支計算書」「消費収支計算書」「貸借対照表」その他を作成しており、毎年決算承認後文部科学大臣に届け出しています。

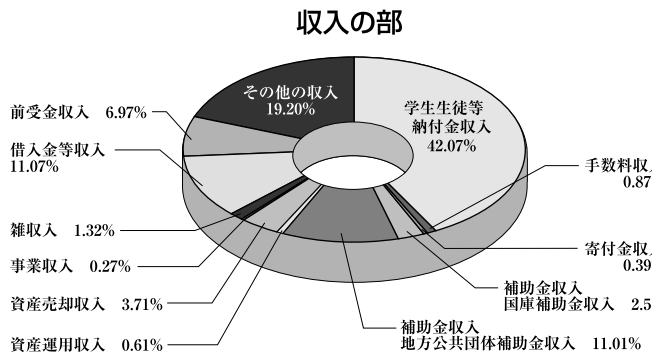
当学園は、私立学校法および書類閲覧規程に基づき「財務の概況」として公開を行っております。

◆資金収支計算書 平成18年4月1日～平成19年3月31日

資金収支計算書は、学校法人が毎会計年度に当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該年度会計における支払資金の収入及び支出のてん末を明らかにするため、計算を行うことが目的であります。その計算方法は、当該会計年度における支払資金の収入並びに諸活動に対応する収入で前会計年度以前の会計年度において支払資金の収入となったもの及び当該会計年度の諸活動に対応する収入で翌年会計年度以後の会計年度において支払資金の収入となるべきものについて行うものです。これは、学園が実施した教育研究等諸活動に対応する、すべての資金の動きについて、収入と支出ごとに集計した計算書です。

収入の部 (単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	5,590,459	5,576,635	13,824
手数料収入	134,920	114,600	20,320
寄付金収入	7,400	51,904	△ 44,504
補助金収入	1,527,849	1,792,271	△ 264,422
国庫補助金収入	292,202	332,876	△ 40,674
地方公共団体補助金収入	1,235,647	1,459,395	△ 223,748
資産運用収入	33,515	81,196	△ 47,681
資産売却収入	492,000	492,000	0
事業収入	33,674	35,303	△ 1,629
雑収入	149,590	175,108	△ 25,518
借入金等収入	1,303,761	1,467,584	△ 163,823
前受金収入	929,744	922,878	6,866
その他の収入	2,574,019	2,545,456	28,563
資金収入調整勘定	△ 2,091,702	△ 2,547,938	456,236
前年度繰越支払資金	4,582,899	4,582,899	
収入の部合計	15,268,128	15,289,896	△ 21,768



◆消費収支計算書 平成18年4月1日～平成19年3月31日

「消費収支計算書」は、企業会計でいう収益に当たる帰属収入と費用に当たる支出（減価償却費を含む）用途について、内容および収支の均衡状況を見ます。すなわち、その年度の負債以外の収入と、人件費や諸経費などのいわゆるコストをあげ、バランスが取れているかを見るものです。

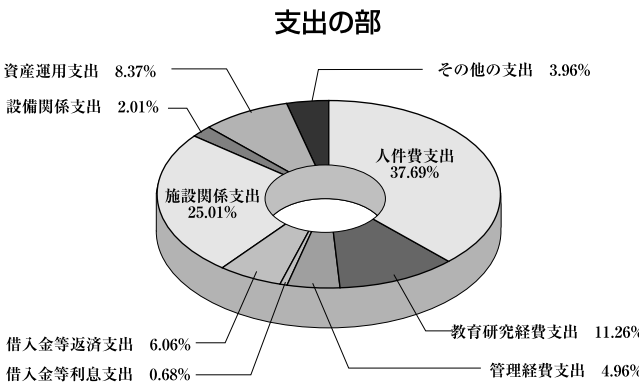
教育研究活動を提供する学校法人は、継続的な維持責任がより一層求められています。そのためには、資金収支の整合性が取れているだけでなく、帰属収入から必要な資産を継続的に保持するために組入れる基本金への組入額を引いた額（消費収入）と、消費支出とのバランスを見ることによって、当該年度だけでなく、将来的な財政の健全性を見ることが重要になってきます。この点、資金収支計算書に比べ消費収支計算書は、長期的な観点をもっているものといえます。尚、建物などの固定資産の取得は、基本金として帰属収入から減額します。

消費収入の部 (単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	5,590,459	5,576,635	13,824
手数料	134,920	114,600	20,320
寄付金	7,400	51,904	△ 44,504
補助金	1,527,849	1,792,271	△ 264,422
国庫補助金	292,202	332,876	△ 40,674
地方公共団体補助金	1,235,647	1,459,395	△ 223,748
資産運用収入	33,515	81,196	△ 47,681
事業収入	33,674	35,303	△ 1,629
雑収入	149,590	175,108	△ 25,518
帰属収入合計	7,477,407	7,827,017	△ 349,610
基本金組入額合計	△ 2,002,237	△ 2,371,262	369,025
消費収入の部合計	5,475,170	5,455,755	19,415

支出の部 (単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	4,556,411	4,502,069	54,342
教育研究経費支出	1,361,732	1,345,054	16,678
管理経費支出	661,075	592,583	68,492
借入金等利息支出	80,688	80,688	0
借入金等返済支出	724,314	724,311	3
施設関係支出	3,077,610	2,988,583	89,027
設備関係支出	295,289	239,769	55,520
資産運用支出	1,000,000	1,000,000	0
その他の支出	477,225	472,324	4,901
	(40,867)		
〔予備費〕	49,133		49,133
資金支出調整勘定	△ 984,551	△ 852,190	△ 132,361
次年度繰越支払資金	3,969,202	4,196,705	△ 227,503
支出の部合計	15,268,128	15,289,896	△ 21,768



消費収入の部

(単位：千円)

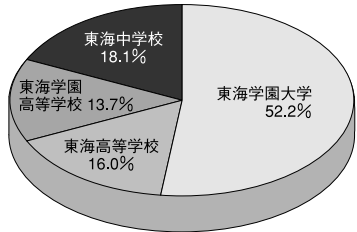
科 目	決 算	学 校 法 人	東海学園大学	東海高等学校	東海学園 高等学校	東海中学校
学生生徒等納付金	5,576,635	0	4,097,925	537,992	401,362	539,356
手数料	114,600	0	79,405	4,577	18,714	11,904
寄付金	51,904	3,744	1,000	46,819	0	341
補助金	1,792,271	0	264,423	443,130	620,758	463,960
国庫補助金収入	332,876	0	264,106	7,994	60,714	62
地方補助金収入	1,459,395	0	317	435,136	560,044	463,898
資産運用収入	81,196	1,212	54,046	11,480	7,361	7,097
資産売却差額	0	0	0	0	0	0
事業収入	35,303	0	35,303	0	0	0
雑収入	175,108	14	93,187	23,431	18,096	40,380
帰属収入の部合計	7,827,017	4,970	4,625,289	1,067,429	1,066,291	1,063,038
基本金組入額合計	△ 2,371,262	△ 416,363	△ 1,565,830	△ 127,115	△ 260,242	△ 1,712
消費収入の部合計	5,455,755	△ 411,393	3,059,459	940,314	806,049	1,061,326

消費支出の部

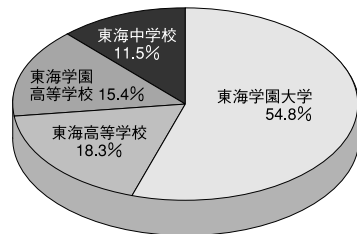
(単位：千円)

科 目	決 算	学 校 法 人	東海学園大学	東海高等学校	東海学園 高等学校	東海中学校
人件費	4,605,067	30,291	2,053,643	993,411	833,767	693,955
教育研究経費 (内減価償却額)	1,926,963 581,910	0 0	1,352,968 377,211	242,650 120,541	231,583 61,811	99,762 22,347
管理経費 (内減価償却額)	633,887 41,305	104,312 25,189	450,297 14,560	25,863 1,331	30,359 216	23,056 9
借入金等利息	80,688	7,685	31,041	37,300	1,107	3,555
資産処分差額	8,151	8,000	0	151	0	0
消費支出の部合計	7,254,756	150,288	3,887,949	1,299,375	1,096,816	820,328
当年度消費収支超過額	△ 1,799,001					
前年度繰越消費収支超過額	△ 5,950,705					
翌年度繰越消費収支超過額	△ 7,749,706					

学校別の収入



学校別の支出



◆「消費収支計算書」による、主な部門別財務比率とその課題

① 人件費比率

人件費 帰属収入		[評価] 低い値がよい
		人件費の帰属収入に対する割合を示す比率です。 人件費は、消費支出のうち最大の部分を占めており、この比重が高いと消費支出全体を膨張させ、結果として支出超過を招くおそれがあります。

学 園	東海学園大学	44.4%	東海高校	93.0%	東海学園高校	78.1%	東海中学校	65.2%
全国平均	大学部門	49.4%	高校部門		67.9%	中学部門		60.5%

※全国平均値は、平成18年度版 今日の私学財政『日本私立学校振興・共済事業団』発行より。以下同じ。

② 帰属収支比率

帰属収入－消費支出 帰属収入		[評価] 高い値がよい
		帰属収支差額の帰属収入に対する割合です。この比率がプラスで大きくなるほど自己資金は充実されていることになります。この比率がマイナスになる場合は、当年度の帰属収入で、消費支出を賄うことができないことの反映であり、基本金組入前で、既に消費支出超過の状況です。

学 園	東海学園大学	15.9%	東海高校	▲21.7%	東海学園高校	▲2.8%	東海中学校	22.8%
全国平均	大学部門	7.8%	高校部門		0.7%	中学部門		11.6%

③補助金比率

補助金 帰属収入		[評価] 高い値がよい
		補助金収入は、いまや必要不可欠のものとなっています。しかしながら、この比率が高いということは、学校独自の自主財源である納付金やその他の収入が相対的に低いことを示しており、国や地方公共団体の財政事情によって、補助金削減等の影響を受けやすく、経営に弾力性を失う可能性もあります。

学 園	東海学園大学	5.7%	東海高校	41.5%	東海学園高校	58.2%	東海中学校	43.6%
全国平均	大学部門	10.7%	高校部門		35.1%	中学部門		26.3%

◆貸借対照表

平成19年3月31日

学校法人の目的である教育研究活動を達成するためには、膨大な施設や設備など各種の財産を必要とします。貸借対照表は、これらの財産の保有状況を表し、教育研究に必要な財産が適正に維持管理されているかどうかを示すものです。この貸借対照表はその意味で重要であり、消費収支計算書とともに長期的な観点を持つものといえます。

ここでの資産は、学園が保有する土地、建物、現金預金などを示し、負債とは、借入金や退職給与引当金など、いずれ支出となって出て行くものを示します。基本金は、学園が必要な資産を永続的に維持するために、帰属収入のうちから組入れたものです。この基本金と消費収支差額の合計が正味財産となります。

資産の部

(単位：千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	25,257,501	23,201,451	2,056,050
有形固定資産	22,199,812	19,594,519	2,605,293
土地	5,020,254	4,870,254	150,000
建物	13,656,166	11,277,789	2,378,377
その他の有形固定資産	3,523,392	3,446,476	76,916
その他の固定資産	3,057,689	3,606,932	△ 549,243
流動資産	5,781,342	5,914,283	△ 132,941
現金預金	4,196,704	4,582,899	△ 386,195
その他の流動資産	1,584,638	1,331,384	253,254
資産の部合計	31,038,843	29,115,734	1,923,109

負債・基本金・消費収支差額の部

(単位：千円)

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	7,518,354	6,685,306	833,048
長期借入金	5,304,501	4,574,452	730,049
その他の固定負債	2,213,853	2,110,854	102,999
流動負債	2,456,635	1,938,835	517,800
短期借入金	515,336	502,111	13,225
その他の流動負債	1,941,299	1,436,724	504,575
支出の部合計	9,974,989	8,624,141	1,350,848
基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	28,064,840	25,693,578	2,371,262
第3号基本金	265,720	265,720	0
第4号基本金	483,000	483,000	0
基本金の部合計	28,813,560	26,442,298	2,371,262
消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	7,749,706	5,950,705	1,799,001
消費収支差額の部合計	△ 7,749,706	△ 5,950,705	△ 1,799,001
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	31,083,843	29,115,734	1,968,109

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

徴収不能引当金
金銭債権の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

退職給与引当金
大学等の教職員に係る退職給与引当金については、期末要支給額1,076,538,901円の100%を基にして私立大学退職金財団に対する掛金の累計額と交付金の累計額との繰入調整額を加減した金額を計上している。
高等学校以下の教職員に係る退職給与引当金については、期末要支給額2,996,026,245円から愛知県私学退職基金財団よりの交付金相当額を控除した金額の100%を計上している。

(2) その他の重要な会計方針

有価証券の評価基準及び評価方法
移動平均法に基づく原価法である。

所有権移転外ファイナンス・リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

預り金その他経過項目に係る収支の表示方法
預り金に係る収入と支出は相殺して表示している。

- 重要な会計方針の変更等 該当なし。
- 減価償却額の累計額の合計額 10,543,238,440 円
- 徴収不能引当金の合計額 21,000,000 円
- 担保に供されている資産の種類及び額
担保に供されている資産の種類及び額は、次のとおりである。
土 地 426,532,309 円 建 物 5,238,483,785 円
定期預金 1,000,000,000 円
- 翌会計年度以後の会計年度において
基本金への組入れを行なうこととなる金額 4,003,741,575 円
- その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

(1) 有価証券の時価情報 (単位：円)

種 類	当年度(平成19年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	299,820,000	299,921,400	101,400
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	799,600,000	676,940,000	△ 122,660,000
合 計	1,099,420,000	976,861,400	△ 122,558,600

(2) デリバティブ取引
デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益 (単位：円)

デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益						(単位:円)
対象物	種 類	当年度(平成19年3月31日)				
		契約額等	契約額等のうち1年超	時 価	評価益	
金利 スワップ取引	受取変動・ 支払固定	350,000,000	300,000,000	2,437,971	2,437,971	
合 計		350,000,000	300,000,000	2,437,971	2,437,971	

(注) 時価の算定方法
金利スワップ取引・・・取引銀行から提示された価格によっている。

(3) 所有権移転外ファイナンス・リース取引
通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行なっている所有権移転外ファイナンス・リースのうち平成10年4月以降締結したものは次のとおりである。

リース資産の種類	リース料総額	未経過リース料期末残高
建物附属設備	191,166,000	61,603,200
教育研究用機器備品	712,609,365	361,509,939
その他の機器備品	21,623,220	6,164,992
車 輦	21,256,200	15,942,150

(4) 関連当事者との取引
関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

属 性	役員名	取引の内容
理事長	水谷幸正	借入金の連帯保証

(注) 当法人の日本私立学校振興・共済事業団からの借入金3,393,160,000円に対して、当法人理事長水谷幸正が連帯保証人となっている。なお、保証料の支払は行っていない。
また、当該借入に対して前理事長の村瀬忠雄(平成19年1月13日退任)が連帯保証人になっていたが、この連帯保証人は平成19年3月20日付けで現理事長に変更になった。

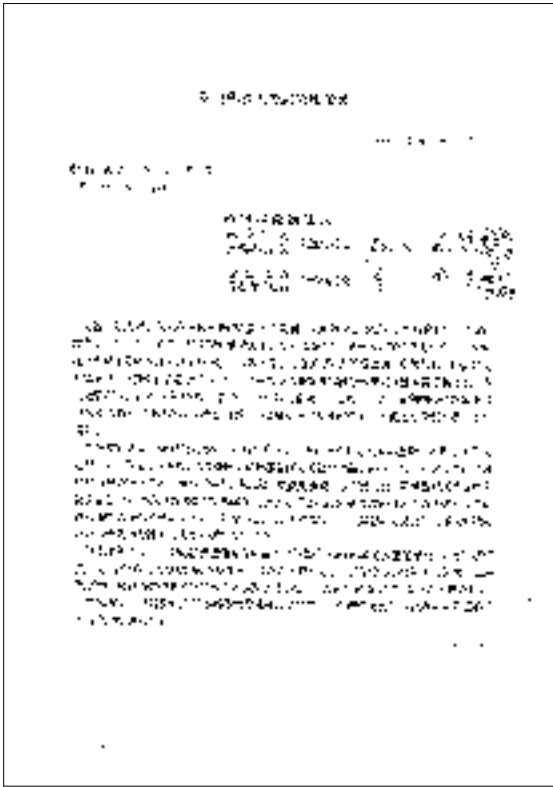
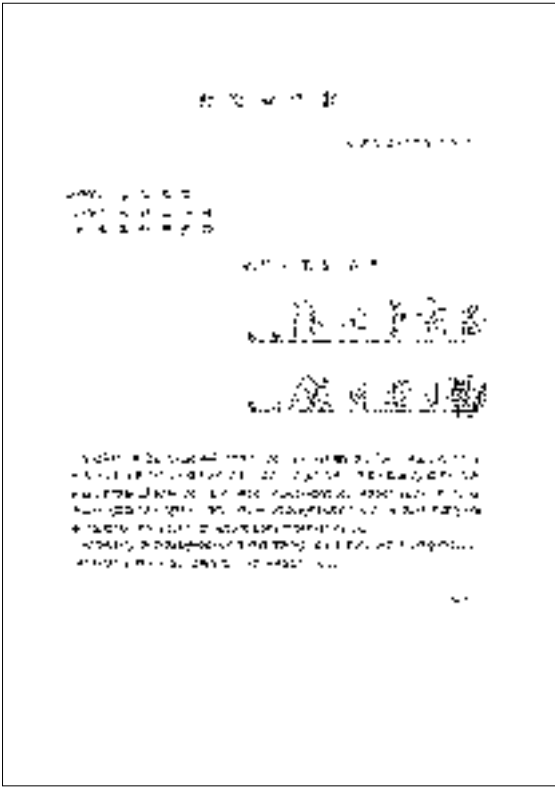
◆財産目録

[平成19年3月31日現在]

(単位：千円)

I 資産総額		31,038,843	資産額			負債額		
基本財産		21,797,703	1 基本財産			1 固定負債		
運用財産		9,241,140	土地	267,586.13m ²	4,307,777	長期借入金		5,304,501
II 負債総額		9,974,989	建物	103,126.23m ²	13,648,901	その他の固定負債		2,213,853
III 正味財産			構築物	425	1,594,194	2 流動負債		
(資産総額－負債総額)		21,063,854	図書	298,105 冊	1,196,665	短期借入金		515,336
			教具・校具・備品・その他の備品	26,069 点	732,532	その他の流動負債		1,941,299
			その他の基本財産		317,634	負債総額		9,974,989
			2 運用財産			正味財産(資産総額－負債総額)		21,063,854
			現金・預金		4,196,704			
			積立金		1,800,000			
			その他の運用財産		3,244,436			
			資産総額		31,038,843			

◆監査報告書



◆学生生徒の状況

[平成19年5月1日現在]

(単位：名)

	クラス数	学生 生徒数	収容定員
東海学園大学 大学院	—	19	40
東海学園大学 経営学部	—	1,089	960
東海学園大学 人文学部	—	1,174	1,060
東海学園大学 人間健康学部	—	1,407	1,260
東海学園高等学校	32	1,124	1,485
東海高等学校	30	1,168	1,620
東海中学校	26	1,119	1,500
合 計		7,100	7,925

◆教職員の状況

[平成19年5月1日現在]

(単位：名)

	専任教員 (含校長・教頭)	専任職員 (含用務)	小計	非常勤 講師	非常勤職員 (含用務)	小計	合計
法人事務局	0	1	1	0	5	5	6
東海学園大学	87	44	131	254	40	294	425
東海学園高等学校	58	7	65	31	7	38	103
東海高等学校	62	8	70	18	7	25	95
東海中学校	47	2	49	19	5	24	73
合 計	254	62	316	322	64	386	702

東海の教育理念・三綱領について

- 三綱領
- 1 明照殿を敬い信念ある人となりましょう

2 勤儉誠実の校風を尊重して よい個性を養いましょう

3 平和日本の有要な社会人となりましょう

第一は、明照殿を敬い信念のある人となりましょう

明照殿という建物を敬うことではなく、そこに安置されている大悲本願の応現(絶対の慈悲に基づく願いに対応して出現した)としての阿弥陀仏を敬うことです。そのことにおいて、宗教的な叡知を勧発(人に勧めて道心を起こさせること)せんとすることです。

涅槃経に、「一切衆生悉有仏性」という言葉があります。大乘仏教では、生きとし生けるものすべてに仏(真理に目覚めた人)となる性質(仏性:ぶっしょう)を内に有するといえます。このことから我々一人ひとりに秘められている仏性を自覚すること、これを第一の綱領とすると考えてよいでしょう。

第二は、勤儉誠実の校風を尊重して よい個性を養いましょう

謙虚な心を持って勤め励み、誠実な人生を送ることであります。

今日までの我々人間の歴史が如何に自然界に対して横暴に振舞い、人間のみの欲望充足の追求に明け暮れてきたかを考えてみますと、大きな世界観の転換を図るべき時代を迎えていると思います。我々の歴史が、もし、このさき維持できるとすれば、従来の考え方の延長線上にはないものであって、仏智とも称すべき深い大きな智慧をもってこそ可能性のあることであると思います。

仏の覚りの中身を表すのに「縁起」という言葉が使われます。本質的には涅槃も空も悟りも皆この縁起として考えるところに始まります。学園の校是でもあります。最近、盛んに言われる[共生]も同じことであります。縁起は、プラティートヤ・サムウトパダpratitya-samutpadaの翻訳語であって、条件的生起とでも直訳できます。ロシアのチェルパッキーと言う優れた仏教思想の理解者は、relativity即ち相関性という言葉を当てました。生命の相関性の中で、我々が存在し得ることは皆さんにもよく理解できることと思います。

おのおのの個性がその人でなければならないものを有しておって、お互いにかけてえのない生命として存在することを自覚したいものです。

第三に、平和日本の有要な社会人となりましょう

平和日本とは、わが国が平和な日本国であるのみならず、永遠の課題として平和を追求する人々の集団でありたいということです。そのような平和探求の集団の中で中心的な存在としてありたいと願うことです。それには、先ず、あくなき欲望という自己の内なる悪魔に打ち勝ち、自己の内なる平和を樹立する基礎的作業が重要です。我が内なるヒトラー(他の生命を殺し、無視し、自己を省みない精神のあり方)を打破せずして外に平和を追求することはできません。仏陀の平安は、自己に打ち勝ちたる者のみの有する平安でした。遠い未来を見据える擬視の慈愛の視線は、そこから自らに発せられてくるものと信じます。あるヨーロッパの著名な哲学者が、広隆寺の弥勒菩薩に接したとき、そこに始めて人間であって人間を超える道を見出した感動を告白しています。

以上三つの教育理念(建学精神)は、互いに関連しあっておりますが、これをもって我が東海学園の教育のあり方を示し、教育理念の具現化を願い設立された学園であります。